

## 防災通信 No.8

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

# 今後の災害は複合災害！

新型コロナウイルス感染症を踏まえて「横浜市総務局危機管理室」は令和2年6月より地域防災拠点の開設・運営のポイントを発行しました。その内訳により「市民の皆様にご協力をお願いしている事項」があります。

- ・ **災害時に自宅で安全を確保できる場合には、新型コロナウイルス感染を防止するためにも、在宅避難に努めてください。**
- ・ **在宅避難に備え食料やトイレパック等の備蓄品を準備してください。**
- ・ **行政が開設する避難場所・避難所だけでなく、親戚や友人の家への避難も検討してください。**
- ・ **自宅療養者においては、発災時に自宅で安全を確保できるか不安な場合は、宿泊療養施設へ入所する等の対応が可能なため、事前に各区福祉保健センター福祉保健課へお問い合わせください。**

〈その他資料より〉

災害は新しい局面に向かっている。災害地域は必ず自然災害プラス感染症の「**複合災害**」になる。避難所でクラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあり過去に例を見ない複合災害への備えが求められています。



〈新型コロナウイルス感染症での注意〉

- ① 感染者からのくしゃみや咳などを吸い込む飛沫感染
- ② ウイルスが付いたものを触り、その手で口や鼻を触り粘膜から感染する接触感染

左記映像は台風10号での避難所の様子です。飛沫感染・接触感染を数名の地域役員や避難者の協力で防止しなければなりません。その他生活での難題もあります。

※現在のグリーンテラスの備蓄食料（ ）内は一世帯分

クラッカー210食（1.4食）・アルファ米400食（約2.6食）・缶詰水500ml 2040缶（13.6本 約6.5ℓ）の在庫です。これだけです。各世帯での備えが大事と言うことですね。しかし全世帯が異常なしで済むでしょうか？在宅避難は難しい家庭が出来るかもしれません。避難所に行っても感染の心配があります。自宅での避難が難しい時、集会室は大丈夫でしょうか。そこで皆様にも考えていただきたいのですが、Aゾーン下空スペースは利用できないでしょうか。西側と東側に1か所ずつ災害時の避難場所を確保しておけば集会室が使えない状態になったとしても地域避難所として使用出来るのではないかと思います。そして備蓄も増やすことが可能です。新型コロナウイルス発生から従来とは全く常識が違います。この機会に新しい考えを求められているのではないのでしょうか。